

詩仙堂しせんどうは一乗寺村じようじ天王てんわうに至る南方にして、石川丈山ちやうざんの山莊なり。表に小有洞せういうどうの額あり、中門の額は梅関ばいくわん、路次の額は凹凸あふとつくわ、詩仙堂しせんどうの額、上は嘯月樓下は蜂要ほうえう、四壁には漢晋唐宋の詩人三十六輩の像を画、則其人の詩を丈山ちやうざんみづから書して、画は狩野尚信かのなほのぶとぞ、故に詩仙堂しせんどうといふ。

左一 蘇武、謝靈運、杜審言、李白、王維、高適、儲光義、韋応物、韓愈、劉禹錫、李賀、杜牧、寒山、林逋、梅堯臣、歐陽修、黃庭堅、陳与義、左十八

右一 陶潜、鮑昭、陳子昂、杜甫、孟浩然、岑參、王昌齡、劉長卿、柳宗元、白居易、廬同、李商隱、靈徹、邵雍、蘇舜欽、蘇軾、陳師道、魯幾、右十八

丈山ちやうざんの墳は詩仙堂しせんどうの巽の方山上にあり、正保二年舞樂寺村ぶがくじの中山やかやまに寿壙を築て頑仙祠ぐわんせんしと号す。〔丈山ちやうざんは無二むにの隱士いんしにして、此竹林に居し、誓て鴨川を渡らずとなり、寛文十二年五月廿三日卒す、年齢九十歳〕